

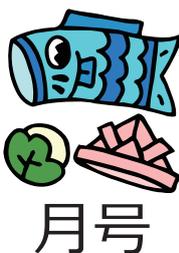
# 図書館通信



豊かな時間を図書館で

令和元年  
(2019年)

5



月号

第458号 (第38巻第2号)

## 【目次】

P 1	ワークショップのお知らせ	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告・おねがい	P 8	新着図書案内
P 4	アーンズ分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail [toshokan@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:toshokan@city.noboribetsu.lg.jp)

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

## ワークショップ —松田奈那子さんをむかえて—

北海道出身の絵本作家、松田奈那子さんのワークショップを開催します。

日時： 5月18日(土) 13時30分～15時

場所： 図書館 3階 会議室

### ◎ワークショップ内容

(第1部) 「ララとルルのタンバリンを作って一緒にうたお！」

紙皿にマスキングテープと鈴で装飾した

タンバリンを作り、みんなで歌います。

(第2部) 「でこぼこぬりぬり なにがでる？」

こすりだして着せ替え人形を作ろう！」

いろいろな素材に紙をあててクレヨンなどでこすりだし、

洋服を作って、着せ替え人形に貼っていきます。

※ワークショップ終了後に、松田先生の本の販売とサイン会があります。

### ◎申し込み

対象は、年中から小学生(大人の参加も可)で定員は30名です。

4月18日(木)～5月15日(水)までに電話、または

児童室カウンターでお申し込みください。(参加費は無料です)

なお、応募多数の場合は、登別市に在住の方を優先させていただきます。



でこぼこぬりえ

## 映画会

大型連休及びイベント開催のため、今月の映画会は休止します。

## イベント・講座

※会場：①、③図書館3階会議室  
②図書館1階えほんのへや

### ①牛乳パックで作ろう！風車・コマ・・・主催 おはなしぽけっと

牛乳パック風車やコマをつくるほか、布のおもちゃでも遊べます！

開催日時 5月 2日（木） 10時30分～12時

お申込み 5月 2日まで登別市立図書館 児童室へ

● 当日参加可能

申込制

### ②こどもの日の図書館イベント

● 申込不要

大型絵本の読み聞かせ、本探しゲームのほか、恒例の「せいくらべ」を行います。

開催日時 5月 5日（日） ※読み聞かせは14時～14時30分、その他イベントは終日

### ③市民活動サポーター説明会

● 申込不要

図書館ボランティアについての趣旨や活動内容をご説明します。

開催日時 5月11日（土） ①10時～11時 ②14時～15時 ③17時～18時

## おはなし会

※会場：①、③図書館1階えほんのへや  
②図書館3階会議室

### ①おはなしくれよん（えほんとわらべうたあそび）

日時 5月 8日（水） 10時30分より

### ②おはなしぽけっと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）

日時 5月25日（土） 13時30分より

※今月はこどもの日イベント開催のため「えほんのへやのおはなしかい」はお休みです。



## ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。  
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

ただいま開催中！

『松田奈那子 作品展』

期間：4月18日（木）～5月18日（土）

## 事業報告

### 図書館郷土講座

#### 「クッタラ火山噴出物と登別化石林・幌別化石林」を開催しました

3月16日（土）午後1時30分より、登別市文化財審議会委員を務められ、郷土資料館SLGでもご活躍されている倉澤保文さんを講師にお招きし、標記の講座を開催しました。

本年1月に開催した講座の続編として開講した今回は、我が登別温泉に大きな影響を与えている「クッタラ火山」と、その噴火により生成された「登別化石林」「幌別化石林」にスポットを当てて解説して頂きました。



今年の秋にも続編となる講座を開催する予定ですので、お楽しみに！

### 図書館の家具配置が変わりました

新年度を迎え、図書館（本館）では1階の家具配置を変更しました。ロビーの本棚前に置いていたベンチを入れ換えてテーブルを追加（→）しましたので、読書やコピーの際に資料を置く場所としてご活用ください。



（←）また、パソコン横には新たにソファを置きましたので、寛ぎながらロビー展示をお楽しみ頂けます。

これらの家具は、「さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）」の閉館に伴い、札幌市から譲り受けたものです。

このほか、夏には3階のリニューアルを予定しています。

マイナーチェンジしていく登別市立図書館で素敵なひとときをお過ごしください！

## おねがい

### 本の破損・汚損について

最近、破損や汚損により本の弁償が増えています。雨や飲み物などで濡らしてしまった本は、状態によって弁償をお願いすることがあります。雨天時には袋に入れて本を持ち運び頂けますようお願いいたします。また、誤って破いてしまった・汚してしまった場合は、そのままの状態でも返却時にお知らせください。



図書館の本は多くの方が利用します。皆さまのご協力をお願いいたします。

# アーニス分館だより



## アーニス分館では

- \* 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- \* オンライン・データベースを利用できます。
- \* DVDを視聴できます。
- \* 見やすい大活字本もあります。
- \* 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を



ご覧いただけます。



## 2018年度 大活字本 新着図書案内



はちまん 全4巻	内田 康夫	鬼火の町 上・下	松本 清張
花のさくら通り 全4巻	荻原 浩	白鷹伝 全3巻	山本 兼一
我が家の問題 上・下	奥田 英朗	人情裏長屋 上・下	山本 周五郎
妻恋坂 上・下	北原 亜以子	真相 上・下	横山 秀夫
制服捜査 上・下	佐々木 譲	手のひらの砂漠 上・下	唯川 恵
修羅の契り 1-2	辻堂 魁	日曜日たち	吉田 修一
初陣物語 上・下	東堂 隆	暁の旅人 上・下	吉村 昭
蝸の記 全3巻	葉室 麟		

### 《新刊おすすめ本紹介》



「発酵」のことが1冊でまるごとわかる / 齋藤勝裕著 / ベレ出版



私達の身の周りの生活に欠かす事の出来ない様々な発酵食品を化学的な目で検証し、成分や仕組みをさらにもう1歩踏み込んで解説しています。美味しく健康に良いだけではなく「衣」や「住」にも深い関わりがある「発酵」とは？

古くからの先人の知恵と経験が、何故こんなに美味しいのか、保存できるのか、美しいのか、丈夫なのか、ちゃんと化学的に説明できるんですね。微生物の持つ力は凄い！そして私達の身近に確かに受け継がれてきているのだとあらためて感じました。



皆さん「フェイスブック」ではなく「ブックフェイス」しませんか？  
という事を話すと大抵の方は「ん？」と不思議な顔をされます。  
では、「本」という心のLINEでまちの人とつながりませんか？  
と言うと、皆さん「はい??」とさらに不思議な顔になります。  
それもそのはず私自身がそれ以上どう説明していいのか分からないからです。  
フェイスブックとは、インターネット上で人と人をつなぎ交流をサポートするサービスです。  
LINEとは、今やスマホを利用していれば誰もがやっているコミュニケーションツールです。  
今の時代はネットやスマホからあらゆる情報が手に入ります。知りたいと思えば世界中の情報も簡単に調べられ、ネットを通じ世界中と繋がる便利な世の中です。  
でも、ふと思ったんです。じゃあ、自分は住んでいる町のことをどれだけ知っているのだろう？  
近所の人は何をしていて、町の中でどんな事が行われているのか？  
こんなに狭い町なのに一生会わない人もいる。町の事を何にも分かっていないのに、ただネットを見て世の中の事を大体分かったつもりで満足している自分がいました。  
そのような疑問を感じて、まずは地域の事を知ろう。そして町の人たちの事を知りたいと思いました。そうして始めたのが「まちライブラリー」です。

この「まちライブラリー」という活動は、本に感想を書いたメッセージカードをそえて寄贈し、次に読んだ人も同じように感想を書いていきます。そうして一つの本を通して町の中で知らない人同士がつながっていき、新たな出会いや、コミュニティを生み出す活動です。

本には様々な情報が詰まっています。まず本を手にとった時の感触。本の重み。ページをめくる時の紙の質感。そこから始まる作者の想い。沢山の文脈から自分へのメッセージを探し出し、前に進む何かを得たり。さらに、そこに「まちライブラリー」でまちの誰かが書いたメッセージが添えてあってそれがリレー方式でつながっていく。それはもはやネットで検索する以上に情報が詰まっていると言えるのではないのでしょうか。ネットやスマホを捨てて、石器時代に戻りましょうと言っているわけではなく、今ある何かをちょっと工夫をするだけで新たな価値観を見つけることができるかもしれない。そう言いたいのです。

私がこの活動を始めるきっかけになった一冊の絵本があります。

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』（汐文社／2014年発行）です。

ウルグアイのムヒカ元大統領のスピーチを分かりやすく説明した本です。

ムヒカ元大統領は「貧乏とは少ししか持っていないことではなく、無限に多くを必要とし、もっともっととほしがることである。」とおっしゃっています。

物が豊かになればなるほど心は貧しいものになっていくんですよ。と教えてくれました。



本を通して近くの人とつながる「まちライブラリー」。ネットで遠くの人達とつながることが悪いとは言いません。むしろこれからはどんどんそういう社会になっていくでしょう。

でも、簡単に町の人たちとつながりを持てるそんなシステムがあれば、あなたの本が登別のどこかで誰かの背中を押したり、子ども達の笑い声を作ったりできるかもしれません。

この「まちライブラリー」が登別の魅力や、市民の魅力を伝える手助けになる。

そんな日を夢見て頼りになる仲間と共にワクワクしながら活動を続けていこうと思います。

まずは一冊の本にあなたの感想を書いて寄贈してみませんか？

興味のある方は「のぼりべつまちライブラリー」までご連絡下さい。

皆さん、「フェイスブック」ではなく「ブックフェイス」しませんか？

「のぼりべつまちライブラリー」 Tel : 0143-86-2333 (平日の9時～17時まで電話対応可能)

Mail : [noboribetsu.machilibrary@gmail.com](mailto:noboribetsu.machilibrary@gmail.com)

いつも、こども達の笑い声や泣き声、本を読む声や時に積み木のガチャガチャする音が聞こえる児童室。そんな児童室の「あるある」をご紹介します。

あるあるーっ！



### （その1）看板スターは「アンパンマン」

児童室の壁面には、アンパンマンの切り絵や折り紙が飾られています。

なぜなら、こども達がはじめに覚える言葉は「ママ・パパ・アンパンマン」なのでは？と思われるほど、アンパンマンが大好きだからです。

図鑑を開いて「これは？」と指差して、付き添いのおとな達にキャラクター名を答えさせる「アンパンマン検定」は、しばしば見られる光景です。

（「ドキンちゃん」を「ジョキンちゃん」と答えたおじいちゃんがいたとか、いないとか・・・）

しかし、小学校にあがる頃になると、仲間内で「まだ、アンパンマンよんでるのお？」と揶揄されることがあるらしく、未練を残しつつ卒業する子どももいるようです。

でも、心配ご無用！今日もどこかで、こども達は「ママ・パパ・アンパンマン」と覚えているに違いありません。

故にアンパンマンは、不動のスターなのです。

あるあるーっ！



### （その2）休日は「おとうさんといっしょ」

休日になると、こども達の付き添いは、おとうさんが担当することが多くなるように思います。

20～30冊の返却本を抱えてやって来ては、こども達を児童室に放ちます。

ご自身も、コミック（三国志やブラックジャックが人気のようです）を読んだり、こども達に絵本を読み聞かせたり、まったりと過ごされています。

こども達が本を選び終わると、また、20～30冊の本を抱えて帰っていきます。

（その背中が、少々、疲れているように見えるのは気のせいでしょうか？）

月に一度、しんた21で行われる4カ月健診でも、会場に訪れるおとうさんが増えてきたように思います。

登別のおとうさん達は、「イクメン」が多いようです。

### （番外編）常備品は「救急絆創膏」

一年に数回、「サビオありますかーっ！」と流血した指や膝を見せながらこども達が児童室に駆け込んでくることがあります。

そのため、児童室担当者は、机やバックの中に救急絆創膏を忍ばせています。

また、紙を扱うため（一説には、年齢のせい？）油分が奪われていく手に塗るハンドクリーム、ほこりの多い書庫で作業をする時やインフルエンザの流行時にエチケツトとして使用するマスクも、必需品となっています。



なるほどそうだね 札幌のカラス②／中村眞樹子 著／北海道新聞社



「札幌のカラス」の第2弾。著者の20年間にわたる観察エピソードと寄せられた相談を紹介しています。

かわいいイラストやクスッと笑える四コマ漫画も描かれています。

カラスに困っている人は解決できるヒントが見つけれられるかも。

何かしら日々の生活の中で関わってくるカラス。

数年前のことですが、図書館敷地内の木にカラスが巣を作り、巣から落ちてまだ飛ぶことができない雛が図書館の入口をトコトコ歩いていたことがありました。触ることもできずオロオロしましたが、きちんと業者の方に保護していただいたことがありました。

巣立った雛はまだ身を守る術を知らないのです。まずは私たち人間がカラスの行動を知り理解をして守っていくことも大切だと思いました。

本書の中に“カラスが「おはよう」と言っている？”というエピソードがあります。

カラスの鳴き声には何パターンかあるそうで、「おはよう」と聞こえる鳴き声もあるようです。

実際、私は図書館の窓から見えるカラスがカモメの鳴き声をしているのを何度か聞いていました。聞き間違いか…いや！あるのかも。皆さんの近くで変わった鳴き声が聞こえませんか？

他にも『カラスと戦う人々』、『切符を買うカラス、その真相は？』などユニークだけど、カラスたち一生懸命生きているんだなあって思わせてくれるエピソードがたくさんあります。

第1弾『なんでそうなの 札幌のカラス』もカラスの生態が詳しく載っていて、第2弾ともにおすすめです。

郷土資料紹介



北海道 駅名の起源 / 日本国有鉄道北海道総局



北海道国有鉄道各駅の所在地、開駅年月日、駅名の起源と一緒に、

当時の各駅観光地や史跡が簡単に紹介されています。

地名にはアイヌ語が多く使われており、駅名の起源あらしを知るには興味深く面白く読むことができます。なによりも国鉄全盛期の北海道路線を網羅している一覧表が付いていて、

とても貴重です。多くの路線はすでに廃線・廃駅となっていますが、こんなところにも！あんなところにも！駅があったのかと知ることができます。

各駅の起源を知り駅巡りしてみるというのもまた違った見方ができて楽しいと思います。

本書の初版は昭和4年に発行されているのですが、北海道史研究者 高倉新一郎氏、郷土史研究家 更科源蔵氏、アイヌ語の権威 知里真志保氏、考古学の権威 河野広道氏の監修で15改版され、昭和47年国鉄創業100年を機にこの改版本が発行されたそうです。

\* 登別駅・幌別駅ともに明治25年8月1日に開駅されました。



# 新着図書案内 令和元年5月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		図説英国執事 新装版	村上 リコ
これからの本の話をしよう	萩野 正昭	親を愛せない子、子を愛せない親たちへ	窪島 誠一郎
サイボーグ時代 リアルとネットが融合する世界でやりたいことを実現する人生の戦略	吉藤 オリイ	JAPAN外国人がどっと押し寄せる 意外な日本の新名所200の地図帳	Amazing Japan Researchers
●メモの魔力	前田 裕二	乳母の文化史	中田 元子
図書館の日本史	新藤 透	3 政治・経済・社会・教育	
読書する人だけがたどり着ける場所	齋藤 孝	さよなら！ハラスメント	小島 慶子
1 哲学・宗教		火付盗賊改	高橋 義夫
子育てママがほっとする魔法の言葉	西沢 泰生	平成はなぜ失敗したのか	野口 悠紀雄
古代オリエントの神々 文明の興亡と宗教の起源	小林 登志子	図解超早わかり18歳成人と法律	南部 義典
物語北欧神話 上・下	ニール・ゲイマン	● 大学による盗骨	松島 泰勝 ・木村 朗
クッキングと人生相談	枝元 なほみ	思いつきで世界は進む「遠い地平、低い視点」で考えた50のこと	橋本 治
第一印象の科学	アレクサンダー・トドロフ	横田空域	吉田 敏浩
「ロンリ」の授業	NHK『ロンリのちから』制作班	● 最後の頭取 北海道拓殖銀行破綻20年後の真実	河谷 禎昌
2 歴史・地理		ユダヤ人とユダヤ教	市川 裕
● 極夜行前	角幡 唯介	消防活動教本	兵庫県西宮市 消防局協力・監修
こんな家に住んできた 17人の越境者たち	稲泉 連	値段と価値 なぜ私たちは価値のないものに、高い値段を付けるのか？	ラジ・パテル
日本人のおなまえっ！ 日本がわかる名字の謎	NHK番組制作班	● 「通貨」の正体	浜 矩子
北海道 '20	昭文社	60分でわかる！キャッシュレス決済最前線	キャッシュレス研究会
情熱でたどるスペイン史	池上 俊一	火災・盗難保険金は出ないのがフツー	加茂 隆康
美智子さまという奇跡	矢部 万紀子	大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる	出口 剛司
日本全国境界未定地の事典	浅井 建爾	断捨離したいナンバーワン、それは夫です	やました ひでこ
● ドライブイン探訪	橋本 倫史	家族はなぜ介護してしまうのか	木下 衆
承久の乱 日本史のターニングポイント	本郷 和人	AINU	池田 宏
知識ゼロからの天皇の日本史	山本 博文	精日 加速度的に日本化する中国人の群像	古畑 康雄
● 大人の男海外ひとり旅	伊藤 伸平	法律から見えてくる「金融」の未来	池田 成史
ニッポン47都道府県正直観光案内	宮田 珠己	● 肉声 宮崎勤30年目の取調室	安永 英樹
イエティ 雪男伝説を歩き明かす	ダニエル・C. テイラー	高齢者が元気になるレクリエーション	三瓶 あづさ
国境の北と日本人	藤巻 光浩	子どものこづかいの指導	齋藤 勝通
● 南極ではたらく かあちゃん、調理隊員になる	渡貫 淳子	神は詳細に宿る	養老 孟司
知ってるのに思い出せない平成まとめクイズ	BLOCKBUSTER	リラックスのレッスン	鴻上 尚史
ひょっとしたら面白いかもしれない ちょっと普通じゃないペルー見聞記	真遥 おらむ	街角の昭和遺産	河畑 悠
昭和の東京12の貌	文藝春秋	こどもにスマホをもたせたら	デボラ・ハイトナー
平成の東京12の貌		開幕！世界あたりまえ会議 私の「ふつう」は、誰かの「ありえない」	斗鬼 正一

# 新 着 図 書 案 内 令和元年5月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
● もっと言うてはいけない	橋 玲	男コピーライター、育休をとる。	魚返 洋平
角さんとじゃじゃ馬	田中 真紀子	● 年金だけでも暮らせませす	荻原 博子
● 昆虫は美味しい！	内山 昭一	園児 & 小学生のスモック・エプロン・ パジャマ 90~140cmサイズ	ブティック社
社をもたない神々	神崎 宣武	きょうも明日も炒めもの	きじま りゅうた
日本人の勝算 人口減少×高齢化×資本主義	デービッド・ アトキンソン	暮らしを楽しむタッセルLesson	カナダ 恵子
なぜ働き続けられない？	鹿嶋 敬	米粉で作るうれしい和のおやつ	森崎 繭香
<b>4 自然科学・医学</b>		May Meスタイルのソーイング “アンコール”	伊藤 みちよ
がんを生きぬくお金と仕事の相談室	辻本 由香	オンラインサロンのつくりかた	中里 桃子
ゲノム編集の光と闇	青野 由利	ポリ袋でもっとかんたん！おいしい 焼き菓子	稲田 多佳子
科学立国の危機	豊田 長康	斉藤謠子のいつも心地のよい服とバッグ	斉藤 謠子
脳はみんな病んでいる	池谷 裕二・ 中村 うさぎ	かわいい手作りディズニーベースタイ	ブティック社
メタボも老化も腸内細菌に訊け！	小澤 祥司	季節を楽しむフェルトのつるし飾り	ブティック社
● 77冊から読む科学と不確実な社会	海部 宣男	小鍋でいろいろアヒージョ	田村 つぼみ
走れナース「白衣の使者」奮闘記	齋藤 理江	朝10分!中高生のラクチン弁当320	食のスタジオ
医師が教えるゼロポジ座り 疲れない、太らない、老けない	中村 格子	● 笑って！小屋作り 50万円でできる！？セルフビルド顛末	中山 茂大
● 胎児のはなし	増崎 英明	国際線機長の危機対応力	横田 友宏
科学用語図鑑	水谷 淳	魔法の絞り出しクッキー	信太 康代
噛む力が弱った人のおいしい長生き ごはん	クリコ	暮らしに必要なものは、自分で 決めていい。	一田 恵子
絵でわかる日本列島の地形・地質・岩石	藤岡 達也	布花の本	Yasuko Yubisui
終わっている臓器 もはや不要なのに存在 する人体パーツ21の秘密	坂井 建雄 監修	炊飯器で超かんたんふんわり米粉パン	多森 サクミ
ぼくと数学の旅に出よう	ミカエル・ロナー	かんたん！はじめて園児のかわいい おべんとう	阪下 千恵
奇跡の地形 驚きに満ちた日本を発見！！	藤原 治 監修	コンロ1つで自炊Lesson	金丸 絵里加
逆流性食道炎は自分で防ぐ！	島田 英昭 監修	● たまご×ワタナベマキソース	ワタナベ マキ
ずるいいきもの図鑑	今泉 忠明 監修	大人が愉しむウイスキー入門	輿水 精一
コピーして使えるシニアの 漢字なぞなぞ&クイズ	脳トレーニング 研究会	有元葉子の料理教室 2	有元 葉子
50歳からのついでヨガ	深堀 真由美	<b>6 産業・商業</b>	
● 山中伸弥人体を語る	山中 伸弥・ 浅井 健博	小さな空間を生かす素敵な庭づくり	山元 和実 監修
その症状って、本当に認知症？	朝田 隆	日本鉄道史 昭和戦後・平成篇	老川 慶喜
いちばんやさしい腎臓病の人のための おいしい食事	大越 郷子・ 岩崎 啓子	トコトンやさしい養殖の本	近畿大学 水産研究所
● 子どもがダイエットに一生悩まなくなる 食事法	牧野 直子	● 銭湯図解	塩谷 歩波
<b>5 技術・工業・家事</b>		ANA857便を奪還せよ	相原 秀起
あこがれのオートクチュール刺繍	朝日新聞出版	● 函館空港ハイジャック事件15時間の攻防	戸倉 多未子 監修
フライパン煮込み	若山 曜子	草花で素敵に彩る小さな庭のつくり方	一本木 蛮
		まめしばコ！の、いっしょう 1・2	

# 新着図書案内 令和元年5月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
6 産業・商業		913 日本の小説	
英語でニッポン案内ハンドブック	島崎 秀定 監修	● 魔眼の匣の殺人	今村 昌弘
竹(地域資源を活かす生活工芸双書)	内村 悦三ほか	小説映画ドラえもん のび太の月面探査記	辻村 深月
切手もの知りBook 収集を楽しむ40話	田辺 龍太	● 不死鳥少年	石田 衣良
JR貨物の魅力を探る本	梅原 淳	ひとつち	澤村 伊智
多肉植物&コーデックスGuideBook	主婦の友社	● かわたれどき	畠中 恵
7 芸術・スポーツ		箱の中の天皇	赤坂 真理
いつも心に樹木希林	キネマ旬報社	エスケープ・トレイン	熊谷 達也
ペットボトルと空き容器で作るレトロ 家電とミニ雑貨	宮市 稔子	● 横道世之介 続	吉田 修一
安野光雅 自分の眼で見て、考える	安野 光雅	夫の墓には入りません	垣谷 美雨
死ぬまでに観ておきたい世界の写真1001	ポール・ロウ	● 姑の遺品整理は、迷惑です	
王羲之と顔真卿	富田 淳 監修	家康に訊け	加藤 廣
パリの小さな美術館	原田 マハ	● ノースライト	横山 秀夫
初心者が初段になるための将棋学習法	佐藤 友康	圓朝	奥山 景布子
新しい筋トレと栄養の教科書	岡田 隆	ウチらは悪くないのです。	阿川 せんり
● 運命の絵 中野京子と読み解く	中野 京子	アリスのさくらんぼ	やなせ たかし
朝日新聞報道写真集 2019 2018年1月~12月	朝日新聞社	● 瞳のなかの幸福	小手鞠 るい
● 樹木希林120の遺言 死ぬときぐらい好きにさせてよ	樹木 希林	完全無罪	大門 剛明
書道史謎解き三十話	魚住 和晃	わるもん	須賀 ケイ
稚心を去る	栗山 英樹	あきない世傳金と銀 6 本流篇	高田 郁
大空への夢 特撮の神様円谷英二伝	鈴木 和幸	ほとほと 歳時記ものがたり	高樹 のぶ子
● 0から1をつくる 地元で見つけた、世界での勝ち方	本橋 麻里	● あちらにいる鬼	井上 荒野
● 百歳を超えた北海道人	小森 学	● プラスチックの祈り	白石 一文
ミニ枯山水の世界	柘野 俊明	● 泣くな研修医	中山 祐次郎
民藝のある暮らし	宝島社	戦場のレビヤタン	砂川 文次
フリーア美術館 アメリカが出会った日本美術の至宝	平凡社	● スクエア(横浜みなとみらい署暴対係)	今野 敏
12色で描けるはじめての日本画教室	安原 成美	この道	古井 由吉
アフター1964東京オリンピック	カルロス矢吹	● オーディションから逃げられない	桂 望実
8 言語		● 新章神様のカルテ	夏川 草介
白川静さんに学ぶこれが日本語	小山 鉄郎	キリングクラブ	石川 智健
通訳者・通訳ガイドになるには	鎌田 浩章	夢も見ずに眠った。	絲山 秋子
記号とシンボルの事典 知ってそうで知らなかった100のはなし	スティーヴン・ ウェブ	● 1R1分34秒	町屋 良平
あいうえお順あつという間に 読めちゃうハングル	房 賢嬉・ 用松 美穂	鳥籠の小娘	千早 茜

# 新 着 図 書 案 内 令和元年5月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
永田町小町バトル	西條 奈加	スイート・マイホーム	神津 凜子
ショートショートドロップス	新井 素子	美女と竹林のアンソロジー 森見登美彦リクエスト!	阿川 せんりほか
● ニムロッド	上田 岳弘	● 新宿の猫	ドリアン助川
● 木曜日の子ども	重松 清	<b>9 その他の文学</b>	
殺人鬼がもう一人	若竹 七海	● 自然を生きる、自分を生きる	柳生 博・ 加藤 登紀子
すべての鳥を放つ	四方田 犬彦	人生後半、はじめまして	岸本 葉子
● 発現	阿部 智里	中国銀河鉄道の旅	沢野 ひとし
逆流	田中 経一	この世界は思ってたほどうまくいかないみたいだ	新井 見枝香
● まつらひ	村山 由佳	● この先には、何がある?	群 ようこ
駒音高く	佐川 光晴	種の起源	チョン ユジョン
ジャップ・ン・ロール・ヒーロー	鴻池 留衣	あの子はもういない	イ ドウオン
忠義に死す 島津豊久	近衛 龍春	永遠の詩情	森村 誠一
雷雲の龍 会津に吼える	吉川 永青	伊丹十三選集 2 好きと嫌い	伊丹 十三
● 歌舞伎町ゲノム	誉田 哲也	作家のおしごと	五木 寛之
あなたのためなら(藍千堂菓子噺 3)	田牧 大和	● 白秋期 地図のない明日への旅立ち	
マーダーズ	長浦 京	● あの人に会いに 穂村弘対談集	穂村 弘
● DRY	原田 ひ香	老いてこそユーモア	阿刀田 高
名もなき星の哀歌	結城 真一郎	● 心霊電流 上・下	スティーヴン・ キング
吹上奇譚 第2話 どんぶり	吉本 ばなな	波	ソナーリ・ デラニヤガラ
● 天命	岩井 三四二	酒呑みに与ふる書	キノブックス編集部
いのちの人形	横関 大	歌仙はすごい 言葉がひらく「座」の世界	辻原 登ほか
W県警の悲劇	葉真中 顕	たのしい暮しの断片(かけら)	金井 美恵子
海わたる聲 悲劇の樺太引揚げ船 「泰東丸」命奪われた一七〇八名の叫び	中尾 則幸	私の後始末	曾野 綾子
残りものには、過去がある	中江 有里	工学部ヒラノ教授のラストメッセージ	今野 浩
月虹の夜市 日本橋船宿あやかし話	折口 真喜子	● 82年生まれ、キム・ジョン	チョ ナムジュ
富山地方鉄道殺人事件	西村 京太郎	カッコーの歌	フランシス・ ハーディング
● 指揮権発動	笹本 稜平	メアリ・ポピンズ	トラバース
逃げろ、手志朗	吉森 大祐	次の人、どうぞ!	酒井 順子
スカーフェイス 2 警視庁特別捜査 第三係・淵神律子 デッドリミット	富樫 倫太郎	森見登美彦 永久保存版 総特集	河出書房新社
居た場所	高山 羽根子	用事のない旅	森 まゆみ
博奕のアンソロジー 宮内悠介リクエスト!	冲方 丁ほか	世界の家族／家族の世界	椎名 誠
あの日ののぞみ246号	中村 文昭	しびれる短歌	東 直子・ 穂村 弘
絵師の魂 溪斎英泉	増田 晶文	● 文豪お墓まいり記	山崎 ナオコーラ

## 館内での食事について

図書館3階の学習スペースに限り、自席で昼食をとることができるようになりました。皆さまが気持ちよくご利用いただけますよう、ご協力をお願いします。

- ・持ち込みのお弁当などを食べることができます。
- ・水筒やフタ付きの容器に入った飲料をお飲みになれます。
- ・ゴミ箱はありませんので、ゴミは各自お持ち帰りください。

**時間：正午から午後2時まで**  
**場所：3階学習スペース自席**



## 図書館カレンダー 令和元年(2019年) 5月

日	月	火	水	木	金	土
			<b>1</b> 即位の日 本館休館	<b>2</b> 国民の休日 本館特別開館 分館休館	<b>3</b> 憲法記念日 本館休館	<b>4</b> みどりの日 本館休館
<b>5</b> こどもの日 本館特別開館 こどもの日 イベント	<b>6</b> 本館休館	<b>7</b>	<b>8</b> おはなしくれよん	<b>9</b> 分館休館 ブックスタート	<b>10</b>	<b>11</b> サポーター説明会
<b>12</b>	<b>13</b> 本館休館	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>16</b> 分館休館	<b>17</b>	<b>18</b> ワークショップ
<b>19</b>	<b>20</b> 本館休館	<b>21</b>	<b>22</b>	<b>23</b> 分館休館	<b>24</b>	<b>25</b> おはなしほけっと
<b>26</b>	<b>27</b> 本館休館	<b>28</b>	<b>29</b> ライブリー スタート おはなし会	<b>30</b> 分館休館	<b>31</b> 図書整理日 本館休館 分館休館	

## 図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷲別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷲別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00